

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立吉田高等学校
学校番号(42)

| 評価実施日 | | 令和6年2月22日(木) | |
|-------|-----------|--------------|----|
| 委員 | 氏名 | 所属等 | 備考 |
| | 池田 多津子 | 学校評議員 | |
| | 牛川 頼明 | 学校評議員 | |
| | 岩村 修子 | 学校評議員 | |
| | 水野 一正 | 学校評議員 | |
| | 小林 綾子 | 学校評議員 | |
| | 丸尾 富士夫 | 元県立学校教員 | |
| | 長岡 道夫 | 元吉田高校PTA会長 | |
| | 新城 裕志 | 宇和島市立吉田中学校長 | |
| | 本田 雅也 | 吉田高校PTA会長 | |
| 高山 久詞 | 吉田高校PTA監事 | | |

| 評価・提言等 | 提言等に対する改善方策等 |
|--|--|
| <p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none">・読書習慣定着と落ち着いた気持で授業を開始するためにも朝読書の時間が大切。時間を増やせできないものか。 <p>(2) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none">・みだしなみ指導において最終合格できない意識の低い生徒がいることが残念。・交通事故0件は素晴らしい。・より良い校則改革に期待する。 <p>(3) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none">・就職・進学において頼もしい成果を上げていただいた。ただ、吉田中学校からの進学者が少ない。 <p>(4) 人権・同和教育</p> <ul style="list-style-type: none">・いじめを許さない態度を育てる項目の評価Cが気になる。 <p>(5) 学校行事・部活動等</p> <ul style="list-style-type: none">・高校の文化祭と吉田町の秋祭りが同日に開催されている件について、文化祭を別日に開催することは出来ないだろうか。・部活動をよく頑張っている。生徒の活躍によって、地域全体が盛り上がる。地域がバックアップもしたい。 <p>2 情報発信・交流活動について</p> <ul style="list-style-type: none">・保護者への連絡がしっかりと伝わらない現実に対し、中学校でも苦慮している。・ホームページの内容は多岐にわたり充実しており関心している。・地域と学校が様々な場面で交流ができて良かった。・防災教育での取組が大変充実していて地域としても頼もしく感じる。・ボランティア活動に関する活動評価がDになっているのが気になる。 | <ul style="list-style-type: none">・伝達事項が保護者に伝わらないという課題もあるため、伝達方法も含めた朝読書の時間確保を検討しなければならない。・生徒の状況は落ち着いており、学校行事においてもよい表情で取り組んでいる。ただ、少数の生徒に規範意識の低さを感じている。それらの生徒にも真摯に向き合いながら指導を継続していく。・校則の検討を始めており、生徒会を中心に教員との議論を深める過程を十分にとる。・高く評価していただいた状況を維持しながら、さらに生徒の希望に合った進路実現を叶える。このことで、入学希望者の増加も目指す。・いじめの見逃しをなくすために、軽微な案件についても認定している。見逃しゼロを目指す。・来年度の文化祭実施は11月2日に実施する。・部活動において支援していただける方を紹介していただけるように、連携を図る。・情報発信を、学校の実態を地域に確認してもらうことで、地域資源からの多角的な支援体制の確立を図るための手段と捉える。・有効な情報を生み出すための教育力を上げる。・ホームページ掲載内容のバランスのチェックを定期的実施する。・ボランティア活動の案内の強化はもとより、生徒の自主的なボランティアセンターへの登録を促すなど、主体的な姿勢を育む。・学校生活全般において、防災意識を高める内容を盛り込むなど、学校における防災意識のフェーズフリー化を進める。 |